

議会だより



“冬の風物詩” 棒鱈づくり
浜風に揺られゆっくりと完成を待ちます。

第84号の掲載内容

- 第4回定例会の概要…………… 2 P～ 3 P
- 質問の追跡調査…………… 4 P
- 一般質問…………… 4 P～ 7 P
- 臨時会の概要…………… 7 P
- 全員協議会の概要…………… 7 P～ 8 P
- 委員会の活動…………… 8 P～ 9 P
- 議員感謝状…………… 9 P
- 会議の出席状況・議会の行事……… 10 P

～令和2年第4回定例会～

令和2年第4回定例会は、12月10日に招集され、会期を12月11日までの2日間と決め、3名の議員による一般質問と鹿部町選挙管理委員会の選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。

また、今期定例会は、条例4件、補正予算4件、その他議案が4件の審議を行い、全て原案のとおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

なお、選挙結果と審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

選挙

◆選挙管理委員の選挙

任期満了により、議長の指名推選で、次の4名の方々が当選人に決定しました。

なお、任期は令和2年12月26日から令和6年12月25日までの4年間です。

木村 力 氏
板坂 新一 氏
藤林 明美 氏
毛利利華子 氏

◆選挙管理委員補充員の選挙

任期満了により、議長の指名推選（順位含む）で、次の4名の方々が当選人に決定しました。

なお、任期は令和2年12月26日から令和6年12月25日までの4年間です。

第1順位 福村 直仁 氏
第2順位 松本 広美 氏
第3順位 濱村 公彦 氏
第4順位 木村千佳子 氏

条例

◆鹿部町議会議員及び鹿部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

公職選挙法の一部改正により、町議会議員及び町長の選挙における「選挙運動用自動車の使用」、「選挙運動用ビラの作成」及び「選挙運動用ポスターの作成」が選挙公営の対象となったことに伴い、必要な事項を定めた条例を制定するものです。

◆鹿部町選挙公報の発行に関する条例の制定について

公職選挙法の規定に基づく任意制選挙公報の発行に關し、必要な事項を定めた条例を制定するものです。



◆地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

地方税法等の一部改正により、延滞金の割合の特例が用語も含め見直されたため、地方税における延滞金と同様に規定している関係条例を改正したものです。

◆鹿部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法施行令の一部改正により、令和3年度以降の国民健康保険税の基礎控除相当分の基準額を43万円に引き上げる等の改正をしたものです。

補正予算

◆令和2年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ3億5356万5千円を追加し、予算総額を57億7600万6千円としました。

主な内容は、ふるさとしかべ応援寄附金3億円の増、国の新型コロナウイルス感染症拡大防止対応地方



創生臨時交付金の第2次補正分に係る各支援事業費などを追加したものです。

◆令和2年度鹿部町介護保険事業特別会計補正予算について

保険事業勘定分の歳入歳出それぞれ322万8千円を追加し、予算総額を3億9748万1千円としました。

内容は、制度改正に伴う介護保険システム改修委託料と介護給付の増加見込みによる各種交付金などを追加したものです。

◆令和2年度鹿部町後期高齢者医療特別会計補正予算について

歳入歳出それぞれ123万7千円を減額し、予算総額を6332万4千円としました。

主な内容は、後期高齢者医療納付金116万9千円を減額したものです。

◆令和2年度鹿部町水道事業会計補正予算について

収益的収入に1070万円を追加し、収益的収入の総額を1億2803万4千

円としました。

内容は、新型コロナウイルス感染症による町内全世帯と事業所への緊急経済対策に伴う、水道料金の一部減免に係る経費を一般会計より繰り入れたものです。

その他

◆工事請負契約の変更について

【工事名】

鹿部町役場新庁舎建設工事（建築主体）

【契約の変更事項】

原契約金額

8億3798万円

変更後の契約金額

8億4582万3千円

増減金額（増額）

784万3千円

【契約の相手方】

森川組・西村鉄建工業・佐藤工務店特定建設

工事共同企業体

◆財産の取得について

【財産の名称等】

鹿部町役場新庁舎備品

（その1）事務用備品（執務空間内デスク、イスほか）一式

か）一式

【取得金額】

4620万円

【取得の相手方】

大沢商店

◆財産の取得について

【財産の名称等】

鹿部町役場新庁舎備品

（その2）事務用備品（書架、物品棚ほか）一式

【取得金額】

2455万2千円

【取得の相手方】

中川本店

◆財産の取得について

【財産の名称等】

鹿部町役場新庁舎備品

（その3）事務用備品（木製家具ほか）一式

【取得金額】

1441万円

【取得の相手方】

根本家具燃料店

議会を傍聴してみませんか

～次回定例会は3月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入り口にある傍聴人受付簿に住所と氏名を記入するだけです。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の取り組みを行っています。

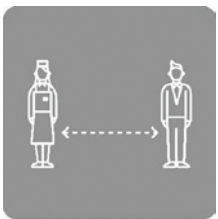
傍聴の皆様にも感染症拡大防止のご協力とご理解をいただきますようお願いいたします。



消毒・洗浄します
議場の消毒や定期的な換気などを実施



手を洗おう
アルコール消毒の実施。発熱など体調不良の場合は傍聴を自粛



一定の距離をとっています
密接・密集を避けるため傍聴席数を制限



咳エチケット
議員などもマスク着用
傍聴の方もマスクの着用



新庁舎議場イメージ図

質問の追跡調査・一般質問

質問の追跡調査

鹿部町議会では、議会改革の一環として、議員の一般質問に対し、行政側が「検討したい」など即答をさける答弁をした場合、町長等は次の定例会で行政報告の最後に進捗状況や取組内容を報告する「一般質問の追跡調査制度」を試行的に実施していますが、令和2年第3回定例会での追跡調査対象事項はありませんでした。

なお、理事者側より令和2年第4回定例会において、次のとおり進捗状況が報告されましたので、その要旨をまとめたものを掲載します。

追跡調査中に関する取組状況

●住民情報の効果的活用について

(令和2年第2回定例会)
高橋 茂夫議員

構成市町による協議の結果、情報提供回数を年1回から年2回に変更し、連携強化を図ることとした。

※質問等は、議会日より第82号と第83号に掲載しています。

追跡調査内容

南渡島消防事務組合への情報提供について、構成市町により、提供可能回数などについて協議中である。

取組状況

○令和2年11月現在
南渡島消防事務組合及び



町長公約について

町長は「笑顔あふれ光り輝く町を、そして、日本一魅力ある漁師町、日本一行ってみたい、住んでみたい漁師町の実現」を基本理念とし、多くの公約などを掲げました。

また、任期の最終年度となる令和2年度では、「勇氣ある変革」と「次なる飛躍へ」の年と目標を掲げております。

そこで、基本理念などに基づく、この4年間での成果と効果について、お尋ねいたします。

■質問と答弁の要約

Q. 1 4年間での成果と効果について。

A. 1 初年度では、職員の意識改革と対話ミーティングなど町民皆様の小さな気付きや想いを見逃さない仕組みづくりを行い、対話ミーティ

ングなどは、私どもの進むべき道を照らす、大変重要な事業となっている。



また、国の政策でもある中小企業振興条例の制定や子育て世代の方々から大変多くのご要望があった、夏休み、冬休みの預かり保育の実施など、1年目からスピード感をもって条例整備や事業の拡充、各制度設計等を進めた。

2年度目では、「更なる

挑戦」と「確実な実行の年」として、5つの課題の方向性について決定をさせていただいた。

また、これまで踏み切れなかった、0歳から2歳児の保育事業を試験的ではあるが、スタートさせることができた。

地元企業への補助事業などについても、実際に利用する事業者の声を聞きながら、スタートさせることができ、現在も柔軟な姿勢で実施している。

また、厳しい状況の水産業では、今後の大胆な投資のために、まずは、昆布やナマコなど各種試験事業の規模を拡大しながら、順次進めている。



一般質問

更には、水産業に携わる人材の育成にも、大幅な予算を計上し、進めている。

3年度目では、「力強い前進」と「聖域なき検証」の年と位置付け、「役場新庁舎整備」、「A級グルメ構想」、この2つの事業を軸に力強く前に進めてきた。

2つの事業以外には、公共交通の実証運行やふるさと納税の推進、浅海漁業対策、合葬墓地の整備、コミュニケーションカフェの充実や高齢者を住民みんなでお支えする仕組みである生活支援体制事業なども進めてきた。



また、切れ目のない子育て支援の構築に向けて、幼稚園のあり方やまちの創生をかけた重要施策を盛り込

んだ第2期まち・ひと・しごと総合戦略の素案をまとめた。

4年度目では、「勇氣ある変革」と「次なる飛躍」の年と位置付け、まずは、新庁舎整備事業に取り組み、移転に向けた、各種住民サービス等のあり方や公共交通網の整備、自主防災組織を核とした、更なる減災対策などについて進めている。

更には、令和2年度の最重要案件を子育て支援と居住支援と決め、変化を恐れず、勇氣ある議論を進めている。

また、A級グルメ構想では、産業連携ビジョン計画を策定し、町民皆様とその理念である「豊かな自然や地域の食を守り、生産・加工・流通・販売・消費までの全ての方々がつながり、共に支え合う」という、その思いを共有し、身の丈に合った事業を一つ一つ実施したいと考えている。

そして、基幹産業である漁業を守り抜くためにも、特に、造り・守る漁業、稼げてかつこよくて革新的で、その日の漁模様で一喜一憂

しない盤石な漁業体制づくりが必要であるため、昆布やウニ、ナマコの試験的取組、人材育成、漁協との意見交換など、今年度についても漁業協同組合と連携を密にしながら進めている。

また、昨年度から進めている各種事務事業や運営方法などの検証についても、今後も常に改善を行いながら、恐れることなく、勇氣をもって変えるべきものは変え、守るべきものはしっかりと守りながら、次の時代へとつなげて行きたいと考えている。

以上、これまでの主な取り組みを紹介したが、どの事業もしっかりとした効果が検証できるまでには、時間が必要であるため、結果等を見ながら、また、皆様のご意見等を頂戴しながら、効果や成果が見えてくるまで柔軟に取り組んで行きたいと考えている。

※質問者は、渡島管内での新型コロナウイルス感染症拡大等に鑑み、再質問をしないと発言し、一般質問を終了



高橋 茂夫 議員

聖域なき事務事業の見直しの成果と今後の取り組みについて

昨年度の町政執行方針で「従来のしがらみにとらわれない事務事業の見直し」を掲げ、果敢に挑戦されておりますが、担当によって取組姿勢に濃淡があるように見受けられるため、具体的な見直し事項をトップダウンなどにより強力に進めべきと思います。

そこで、聖域なき検証として、2年間で取り組んだ主な成果の具体的内容と今後の取り組みについて、お伺いいたします。

■質問と答弁の要約

Q. 1 トップダウンによる取り組みについて。

A. 1 副町長や各課長の方への思いをできるだけ分かりやすく伝え、検証等に取り組んでいただいているが、課により濃淡があるように見られているのであれば、



Q. 2 この2年間で取り組んだ主な内容について。

A. 2 町民福祉・生活分野では、①登録ボランティアによる高齢者生活を支援する「生活支援体制整備事業」の実施、②認知症の方や認知症の疑いのある方、その家族の負担軽減や状況に合わせた支援の方向性、対応を検討し、支援するための「認

「知症初期集中支援チーム」の設置、③敬老会対象年齢の段階的な引き上げ、④コミュニティカフェの実施及び民間への運営母体移行の協議、⑤各種健診における集団から個別への移行及び一部費用の助成、⑥ハチの巢駆除補助金の段階的な縮小です。



産業分野では、①水産振興事業としての試験養殖及び人材確保事業の実施、②鹿部ブランドづくりを目的とした山村活性化事業の実施、③鹿部温泉観光協会の体制強化のための人材及び補助金の増額、④中小企業チャレンジ支援事業補助金制度の見直し、⑤鹿部町地域就労サポートセンターの開設です。

教育分野では、①子育て支援としての教材費、受験費用の無償化等の実施、②

図書室の充実を図るための個人への図書無償支給事業の廃止、③施設利用者の協力のもと、清掃等を行うってもらうことによる管理費の節減、④利用人数減少による部活動大会等の送迎をバスからタクシーへの変更による経費節減、⑤学校における教職員の働き方改革へのサポートです。

建設分野では、①水道事業の将来展望を含めた見直し、②道路整備計画等、各種計画の精査です。



その他の分野では、①移住定住のためのちよつと暮らし事業内容の拡充、②新たな税収の確保のための「家屋敷税」の導入、③税金等のコンビ二収納へ向けての検討、④各種事務手続きの簡素化の検討、⑤旅費制度に関する見直しの検討、⑥コロナ対策を含めた庁舎管理の見直し、⑦ペーパーレス化への

の取り組み、⑧基金管理方針の作成です。

Q. 3

今後の取り組みについて。

A. 3

今後の取り組みでは、①廃屋対策を含めた空き家対策計画の策定、②粗大ごみの取り扱いに係る方向性の決定、③漁業系廃棄物処理施設整備に係る方向性の決定、④子育てと職業生活の両立のための支援事業としてのファミリーサポートセンターの整備、⑤職員の人材育成のための新たな研修制度の検討、⑥行政のデジタル化の推進、⑦町内会及び自主防災組織への活動支援の充実検討です。



方向性が検討される漁業系廃棄物処理施設

Q. 4

主な成果について。

A. 4

全体的にお答えしたいと思えます。

各事務事業の取組内容の最後に実施、導入、作成等でお答えしているものについては、既に実施しているもので、町民の反応や意見等をいただきながら、必要に応じ、修正等を行いながら継続実施してはいますが、逆に検討としたものは、検討はしたものの実施を見



船橋 敦子 議員

冬期間における道道大沼公園鹿部線の安全対策について

冬期間において道道では、車両の路外転落や逸脱による物損・人身事故が繰り返し発生していることを見聞きしております。

また、事故に至らなくても来町する方々から「あそここの冬道はきついね、できれば通りたくない」、「道の駅に行きたくても鹿部の道

路はおつかないから行かない」等々の声を耳にしますと、町のイメージダウンや来町者の足かせにもなっているのではないかと危惧されます。

そこで、管轄は北海道であります、地域の動脈路線ですので、町として安全対策について、どのように

送ったものであり、費用対効果や町民からの意見をもとに実施には至らなかったということであり、再度、検討したうえで、実施に向けて取り組んで行く考えである。

※質問者は、小さな改革は大きな成果につながるから、今後も前向きに取り組んでもらうことを期待すると発言し、町長答弁不要で一般質問を終了

認識されているのか、お伺いいたします。

■質問と答弁の要約

Q. 1

安全対策の認識について。

A. 1

地域の交通安全対策は、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりにおいて、また、観光面においても、大変重要な施策と考えている。



道道大沼公園鹿部線

Q. 2

啓発運動について。

A. 2

各関係機関の協力のもと、年間を通して、交通安全対策を実施しているところであり、道道大沼公園鹿部線に限らず、道路凍結に

よるスリップ事故が多発する傾向にありますので、防災行政無線での注意喚起、危険箇所への看板設置などを実施している。



Q. 3

危険個所に更なる対策が必要では。

A. 3

今後も情報の整理や各関係機関との連携を図りながら、各路線に即した、より効果的な対策を講じて行きたいと考えている。



臨時会

令和2年第5回臨時会は、11月30日招集され、次の案件について審議されました。

条例

◆鹿部町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆鹿部町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◆人事院勧告に基づき、一般職の期末手当の支給率を100分の5引き下げることと、一般職の期末手当改正に伴い、特別職の期末手当も同様に100分の5引き下げるものです。

【以上2件原案のとおり可決】

議員全員協議会

■令和2年第8回議員全員協議会

○開催年月日
令和2年11月16日

○議題

1 鹿部町地域活動支援センター「ぽっぽ」利用促進事業について

地域活動支援センターの利用促進と、地域生活支援拠点の整備に向けた取り組みについて推進するための考えがまとまったことから、その内容の説明を受けました。



「ぽっぽ」教育福祉合同作品展での作品即売

2 鹿部町産業連携ビジョン素案について

基幹産業である漁業を軸とした地域産業全体の産業振興分野の施策と移住・定住、子育て等の町づくり分野の施策をセットで推進する内発型の施策の方向性について説明を受けました。

3 選挙公営について
選挙公営制度の対象が拡

大されたことから、その対応と選挙公報の発行について説明を受けました。



■令和2年第9回議員全員協議会

○開催年月日
令和2年11月30日

○議題

1 選挙公営について
選挙公営に関する費用について説明を受けました。

2 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応地方創生臨時交付金（第2次補正追加事業分）について
新型コロナウイルス感染症に関する国の第2次補正分に係る追加事業について説明を受けました。

一般質問・臨時会・議員全員協議会

議員全員協議会・委員会の活動

3 鹿部町立しかべ幼稚園の建替について

鹿部町認定こども園基本構想案について内容の説明を受けましたが、内容精査のため、継続協議となりました。

2 鹿部町地域公共交通運行計画の状況について

鹿部町地域公共交通運行計画に関する進捗状況について説明を受けました。

3 鹿部町水道事業の今後について

水道事業に関する課題とし、給水人口の減少や管路の老朽化など課題解決に向けた今後の方針について説明を受けました。

4 鹿部町立しかべ幼稚園の建替について

鹿部町認定こども園基本構想案について建替候補地である鹿部公園の現地視察などを行いました。継続的に協議する必要がありますこととなりました。



令和2年第10回議員全員協議会

○開催年月日

令和2年12月10日

○議題

1 鹿部町産業連携ビジョンの策定について

当該ビジョン策定に向け、町民の方から幅広い意見をお聴きする説明会を開催したことから、その開催結果等について説明を受けました。



鹿部公園内



総務経済常任委員会 民生文教常任委員会 合同所管事務調査

◇調査年月日

令和2年10月26日

◇調査事項

駒ヶ岳周辺砂防施設の視察について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地視察調査を実施した。

◇調査の結果

国有林野、駒ヶ岳演習場及び北海道の砂防施設を確認した。



国有林野内砂防施設



国有林野内砂防施設

国有林野では、林野庁による治山事業として、谷止工20基、床固工108基が、平成5年度に事業着手をし、平成29年度で事業を完了、総事業費は30億2794万円となっている。



駒ヶ岳演習場内砂防施設（調節池）



駒ヶ岳演習場内砂防施設

駒ヶ岳演習場では、防衛省による障害防止事業として、砂防ダム14基、床固工37基が、昭和57年度から平成22年度にかけて整備され、令和元年度に調節池1基の整備をもって事業が完了し、総事業費は29億865万円となっている。

委員会の活動・議員感謝状

北海道による砂防事業は、平成8年度及び平成9年度に演習場の下流側にJR線を挟んで砂溜工2基が整備され、総事業費は4億970万円となっている。



北海道砂防施設（砂溜工）

◇調査意見

砂防施設が整備された以降、大雨などによる泥流災害は発生しておらず、現地確認した際にも泥流の痕跡は認められなかった。

今後、上流域で泥流が発生した場合、治山施設や砂防施設が整備された現状においては、泥流の下流域への流出は相当程度抑制できるものと考えられる。

また、砂溜工の自然木の繁殖などの対応について

は、本年度から3か年計画により自然木の撤去などの維持作業が実施されることとなった。



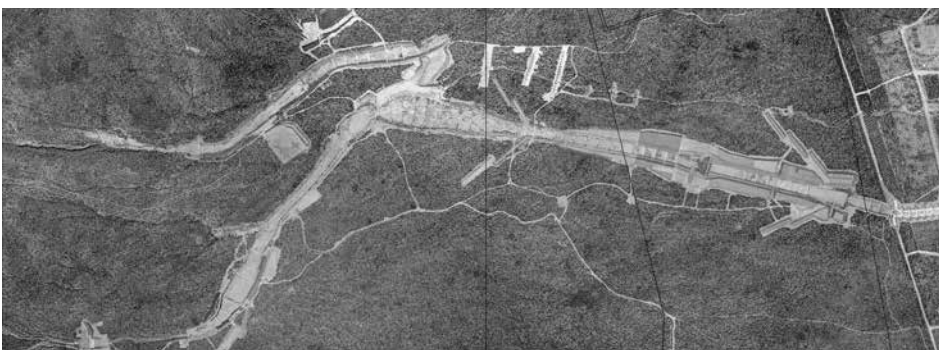
砂溜工の自然木の撤去前



砂溜工の自然木の撤去後

なお、冬季積雪時の噴火に伴う融雪泥流に対応するための北海道の火山砂防事

業について、現在、北海道は関係機関と協議中とのことでありますが、火山砂防計画に事業化されるよう北海道に対し引き続き要望されることを強く望むものである。



※国有林野内の砂防施設航空写真

総務大臣感謝状

この度、35年以上の永きにわたり町議会議員として、地方自治の振興発展に寄与され、住民福祉の向上に尽くされた功績が認められ、次の現職議員に総務大臣より感謝状が贈呈されました。



佐藤頼幸 議員

令和2年10月～令和3年1月 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、―は該当なし)

会 議	高橋 茂夫	吉 英樹	千葉 光義	野田 重毅	船橋 敦子	中川 一	浦 梅吉	佐藤 頼幸	三谷 百十樹	川村 裕司
総務経済・民生文教常任委員会合同所管事務調査(10/26)	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
第8回議員全員協議会(11/16)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(11/30)	○	―	○	―	○	○	○	―	―	―
令和2年第5回臨時会(11/30)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9回議員全員協議会(11/30)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(12/7)	○	―	○	―	○	○	○	―	―	―
令和2年第4回定例会(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10回議員全員協議会(12/10)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(議会だより編集 1/12)	○	―	○	―	○	○	○	―	―	―

議会の行事

10月

26日 総務経済・民生文教常任委員会合同所管事務調査 (全委員)

11月

6日 鹿部町漁港利用促進協議会 (関係議員)
 16日 第8回議員全員協議会 (全議員)
 30日 南渡島消防事務組合第3回議会定例会 (関係議員)
 議会運営委員会 (全委員及び議長)
 第5回臨時会 (全議員)
 第9回議員全員協議会 (全議員)

12月

7日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
 10日 第4回定例会 (全議員)
 第10回議員全員協議会 (全議員)

1月

12日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
 26日 渡島廃棄物処理広域連合議員全員協議会・第1回議会定例会 (関係議員)
 29日 渡島町村議会議長会定期総会 (議長)